



## 2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社レオクラン

上場取引所 東

コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 昭吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 山村 誠人

TEL 06-6387-1554

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	21,472	36.6	785		800		540	
2020年9月期第3四半期	15,724	44.3	22	98.1	26	97.8	4	

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 569百万円 ( %) 2020年9月期第3四半期 2百万円 ( 99.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	276.31	274.73
2020年9月期第3四半期	2.49	

(注) 2021年9月期第3四半期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「」と記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	11,593	5,296	44.6
2020年9月期	13,414	4,817	35.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 5,172百万円 2020年9月期 4,707百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		45.00	45.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,076	18.5	549	168.9	567	173.9	371	207.4	190.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	1,955,400 株	2020年9月期	1,954,400 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	79 株	2020年9月期	79 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	1,954,721 株	2020年9月期3Q	1,928,685 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続いているものの、米国等の一部の国や地域では、新型コロナウイルスワクチン接種の進展により、社会・経済活動正常化に向けた動きが加速いたしました。しかしながら、感染力の強いウイルス変異株の出現による感染再拡大や、ワクチンの有効性低下が懸念される等、依然として不確実性が高い状況が続いております。わが国経済においても、ワクチン接種が開始され、新型コロナウイルス感染抑制に向けた明るい兆しが見られたものの、東京や大阪等を対象に3度目の緊急事態宣言が発令・延長され、社会・経済活動が制限される状況が継続し、景気の先行きについては、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましても、手術数や外来・入院患者数は、回復傾向にあるものの、病院経営は依然厳しい状況が続いております。また、急速な感染再拡大により、一部の地域では医療崩壊が強く危惧される状態となる等、新型コロナウイルス感染症の流行により顕在化した現在の医療提供体制における課題を踏まえ、病床の確保と症状の程度に応じた医療機関間の役割分担、行政と医療関係者の連携も含めた医療提供体制の再構築が急務となっております。一方で、新型コロナウイルス感染症の収束時期に左右されるものの、今後においては、「地域医療構想」の実現に向けた丁寧な議論の積み重ねにより各医療機関において統合・再編を含めた病床転換が多く実施され、建築を伴う大型の設備投資が見込まれるものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、従前と同様に、営業エリアを限定せず、全国での受注実績により入手した病院づくりに係る最新の情報を活かし、新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売の受注のみならず、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の新規導入及びリプレース案件の受注活動を日本全国で展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましても、引き続き事業活動における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微に留まり、前年同期に比べて大幅な増収増益を確保することができました。

以上のことから、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、21,472,031千円(前年同期比36.6%増)、営業利益は785,995千円(前年同期は22,624千円の営業利益)、経常利益は800,670千円(前年同期は26,197千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は540,101千円(前年同期は4,807千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

尚、主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、今期は特に上期偏重が顕著な収益構造であることから、下期の第3、第4四半期連結会計期間につきましては、売上高に対して人件費等の販売費及び一般管理費の負担が大きく、利益面ではマイナスとなる傾向にあります。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① メディカルトータルソリューション事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による足元の受注環境に大きな変化はなく、各案件の進捗は概ね想定どおりに推移いたしました。今期が上期偏重の収益構造となっている主な要因といたしましては、大半の大型案件の売上計上時期が第2四半期連結累計期間に集中していることによるものであります。尚、前年同期に比べて大幅な増益となった主な要因といたしましては、増収効果による売上総利益の増加に加えて、医療機器の一括販売案件等の大型案件を中心に深耕営業の強化等により売上総利益率の向上に注力したことが奏功し、また、訪問営業等の営業活動が制限されたことにより販売費及び一般管理費が抑制基調で推移したこともあり、営業利益は前年同期に対し734,159千円増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、20,637,555千円(前年同期比37.8%増)、営業利益は691,899千円(前年同期は42,260千円の営業損失)となりました。

#### ② 遠隔画像診断サービス事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客別の需要増減はあるものの、従前と同様に独自性を活かしつつ、質を重視した遠隔画像診断の提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、導入医療機関及び取扱件数の増加を図り、安定した成長基調を維持しております。利益面では、主に増収効果による売上総利益の増加により、営業利益は前年同期に対し30,004千円増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は482,556千円(前年同期比17.7%増)、営業利益は62,044千円(同93.6%増)となりました。

## ③ 給食事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客別の需要増減はあるものの、既存受託施設への販売増加及び新規受託施設の獲得により、緩やかな成長基調を維持しております。利益面では、主に労務費等の売上原価の増加により、営業利益は前年同期に対し780千円と若干の減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、351,919千円（前年同期比2.5%増）、営業利益は29,801千円（同2.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,801,409千円減少し、10,396,923千円となりました。これは、現金及び預金が1,697,828千円増加したものの、受取手形及び売掛金が3,310,004千円、その他が188,543千円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて19,325千円減少し、1,196,645千円となりました。これは、投資その他の資産その他が11,928千円、無形固定資産が3,436千円増加したものの、有形固定資産が34,689千円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,820,735千円減少し、11,593,568千円となりました。

## ② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,317,691千円減少し、5,390,314千円となりました。これは、主に未払法人税等が222,431千円、その他が120,926千円増加したものの、買掛金が2,445,161千円、1年内返済予定の長期借入金が166,898千円、賞与引当金が42,391千円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて18,230千円増加し、906,958千円となりました。これは、社債が25,850千円減少したものの、退職給付に係る負債が21,969千円、役員退職慰労引当金が19,087千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,299,461千円減少し、6,297,273千円となりました。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて478,726千円増加し、5,296,295千円となりました。これは、主に利益剰余金が452,156千円増加したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月14日に公表いたしました2021年9月期の通期業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、現時点における新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後、感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合には、事業への影響が出てくる可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査してまいりますとともに、開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,450,782	6,148,610
受取手形及び売掛金	6,652,898	3,342,893
商品及び製品	58,943	58,250
原材料及び貯蔵品	1,645	1,658
その他	1,034,469	845,926
貸倒引当金	△407	△416
流動資産合計	12,198,332	10,396,923
固定資産		
有形固定資産	443,501	408,811
無形固定資産	89,996	93,433
投資その他の資産		
その他	682,479	694,407
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	682,473	694,401
固定資産合計	1,215,971	1,196,645
資産合計	13,414,303	11,593,568

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,282,713	3,837,552
1年内償還予定の社債	44,100	34,600
1年内返済予定の長期借入金	166,898	—
未払法人税等	16,811	239,242
賞与引当金	85,333	42,941
役員賞与引当金	9,700	12,600
その他	1,102,450	1,223,377
流動負債合計	7,708,006	5,390,314
固定負債		
社債	127,100	101,250
退職給付に係る負債	323,039	345,009
役員退職慰労引当金	360,630	379,718
その他	77,958	80,981
固定負債合計	888,728	906,958
負債合計	8,596,734	6,297,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,169	536,669
資本剰余金	495,744	496,244
利益剰余金	3,580,917	4,033,074
自己株式	△166	△166
株主資本合計	4,612,665	5,065,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,859	107,057
その他の包括利益累計額合計	94,859	107,057
非支配株主持分	110,044	123,415
純資産合計	4,817,569	5,296,295
負債純資産合計	13,414,303	11,593,568

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	15,724,563	21,472,031
売上原価	14,164,649	19,127,581
売上総利益	1,559,913	2,344,449
販売費及び一般管理費	1,537,289	1,558,453
営業利益	22,624	785,995
営業外収益		
受取利息	632	564
受取配当金	6,610	5,580
保険解約返戻金	—	7,074
その他	861	5,251
営業外収益合計	8,104	18,471
営業外費用		
支払利息	1,762	1,205
支払保証料	847	654
シンジケートローン手数料	1,500	1,499
その他	421	435
営業外費用合計	4,531	3,796
経常利益	26,197	800,670
特別損失		
固定資産売却損	—	1,335
特別損失合計	—	1,335
税金等調整前四半期純利益	26,197	799,335
法人税、住民税及び事業税	29,773	256,441
法人税等調整額	△6,985	△14,179
法人税等合計	22,787	242,262
四半期純利益	3,410	557,072
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,218	16,971
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,807	540,101



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	3,410	557,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△773	12,198
その他の包括利益合計	△773	12,198
四半期包括利益	2,636	569,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,581	552,299
非支配株主に係る四半期包括利益	8,218	16,971

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,971,319	410,024	343,219	15,724,563	—	15,724,563
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	14,971,321	410,024	343,219	15,724,565	△2	15,724,563
セグメント利益又は損失 (△)	△42,260	32,039	30,582	20,362	2,262	22,624

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額2,262千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	20,637,555	482,556	351,919	21,472,031	—	21,472,031
セグメント間の内部売 上高又は振替高	128	—	—	128	△128	—
計	20,637,683	482,556	351,919	21,472,159	△128	21,472,031
セグメント利益	691,899	62,044	29,801	783,746	2,249	785,995

(注)1. セグメント利益の調整額 2,249千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。